**【高校生版】想いをカタチにするWORKBOOK ―「共感からはじめる社会への一歩」**

このWORKBOOKは総合的な学習の時間や探究学習を実施する前に大切な**子どもたちの動機付け**を

するための教材です。

こちらの資料は、各資料の概要説明と指導案の2つで構成されます。

概要：P.1　指導案：P.2～11



■資料ダウンロードページ

<https://asknet.org/workbook/>

■各資料の使用方法

**【高校生版】想いをカタチにするWORKBOOK**

▶ダウンロードしたPDFをA3で両面印刷してください。ページ番号に合わせて重ね、真ん中で折ることで冊子になります。必要に応じて真ん中をホッチキスで留めてください。

**【高校生版】想いをカタチにするWORKBOOK\_授業用スライド**

**▶**ダウンロードしたスライドを授業で使用することができます。ノートには生徒に伝える内容が書いてあります。アニメーションも入っているので、必要に応じてご使用ください。

**指導案※本資料2ページ目以降**

▶50分×5コマの授業を想定した指導案となっています。

学校のねらいや生徒の状況や合わせて、時間やコマ数は変更してください。

■各コマの概要と使用ページ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| コマ | 概要 | WORKBOOK | スライド | 指導案 |
| 1 | 共感について理解した後、自分の想いに向き合う。 | p.1~4 | p.1~7 | p.2~3 |
| 2 | 自分の想いを深く理解した上で、自分の価値観について考える。 | p.3~6 | p.6~13 | p.4~5 |
| 3 | Will・Need・Canの視点で社会課題について考える。 | p.7~8 | p.14~23 | p.6~7 |
| 4 | 違和感をもとに身の回りにある社会課題について、Will・Need・Canの視点で考える。 | p.9~10 | p.24~28 | p.8~9 |
| 5 | 社会課題の解決策を考え、共感を得ることで、社会を変えることができそうだという自信を持つ。 | p.10~11 | p.27~31 | p.10~11 |

**1コマ目のねらい**：

①自分の気持ち・価値観がより大切な時代になっていることを理解する。

②ワークを通じて、自分の想いに気付く。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 授業の流れ・概要 | 備考 |
| 準備 | ・スライドの投影準備をする。・生徒たちの手元にWORKBOOKを準備させる。 | ＜準備物＞・プロジェクタ・スクリーン・スライド・WORKBOOK（各自） |
| 0:00~0:05(5分) | **【開始・本コマの主旨についての説明】**・「本コマのねらい」、本コマでおこなうことについて、生徒にアナウンスする。 |  |
| 0:05~0:08(3分) | 【**はじめに（説明）**】・未来が予測することが難しい今の時代において、人の気持ち・価値観が大切になってきていることを説明する。 | ＜使用ページ＞スライド p.1~3WORKBOOK p.1※ワークブックに取り組む前提となる内容です。「今の時代をどう思う？」等と問いかけたりしながら、自分の気持ち・価値観の大切さを伝えるとともに、ポジティブな気分で取り組めるような声掛けをしてください。 |
| 0:08~0:18(10分) | 【**「共感」からはじめよう/共感が生まれるステップ（説明）**】**１．社会の多くの活動は共感から生まれていること、共感とは自分の気持ち・価値観を共有することで生まれることを説明する（スライド４）****２．共感が生まれるステップについて説明する（スライド5）**・生徒がSTEP1～３を読む時間を取り、共感のイメージを持たせる。 | ＜使用ページ＞スライド p.4~5WORKBOOK p.2※共感について生徒がイメージしやすいように「好きな商品は何？」「どんなステップで好きになった？」等と聞いてみてください。 |
| 0:18~0:48(30分) | **【「自分の想い」に向き合おう（ワーク）】****１．年表とライフラインチャートについて説明する（スライド6・7）**・スライドに書いてある例を使用しながら、年表とライフラインチャートの書き方について説明する。**２．個人でワークに取り組む。**・必要に応じて、タブレット等で情報収集する。・思い出せないところは、昔の写真を見たり、家族に聞いたりするため、宿題として取り組むことを伝える。 | ＜使用ページ＞スライド p.6~7WORKBOOK p.3~4※左記のとおり、年表とライフラインチャートの説明を先に行い、ワークを一気に行う方法と、年表の説明→ワーク→ライフラインチャートの説明→ワークの順に実施する方法があります。生徒の状況に合わせて、実施いただくことは可能です。※同じ出来事でも捉え方は人によって異なるので、自分の気持ちに正直に書くことをしっかり伝えてください。 |
| 0:48~0:50(2分) | **【まとめ・次回についてのアナウンス】**ここまで、これまでを振り返りながら自分の想いに向き合ってきたこと、次回は想いをさらに深掘りしていくこと、自分の価値観を見つけていくことを生徒に伝える。ワークが十分に書けていないところは、次回までに家族に昔のことを聴いたり、写真を見たりして思い出したことを書き加えてくるように伝える。 |  |

**２コマ目のねらい**：

①自分の想いの深掘りと他者との共有により、自分の想いをより深く理解する。

②ワークを通じて、自分の価値観（大切にしていること）について考える。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 授業の流れ・概要 | 備考 |
| 準備 | ・スライドの投影準備をする。・生徒たちの手元にWORKBOOKを準備させる。 | ＜準備物＞・プロジェクタ・スクリーン・スライド・WORKBOOK（各自） |
| 0:00~0:02(2分) | **【開始・本コマの主旨についての説明】**・「本コマのねらい」、本コマでおこなうことについて、生徒にアナウンスする。・年表、ライフラインチャートが完成しているか確認する。 | ＜使用ページ＞スライド p.6~7WORKBOOK p.3~4 |
| 0:02~0:22(20分) | 【**自分の想いに向き合おう（ワーク）】****１．「今の自分に大きな影響を及ぼした体験は何かを考えてみよう」について説明する（スライド8）**・例のように考えたことを記入する。**２．「自分の判断基準や大切にしていることが何かを考えてみよう」について説明する（スライド9）**・例のように考えたことを記入する。**３．「書いたこと・考えたことを周りの人に共有してみよう」について説明する。（スライド10）**・2～3名で聴き方に注意しながら共有する。 | ＜使用ページ＞スライド p.8～10WORKBOOK p.3~4＜目安時間＞1人2分程度 |
| 0:22~0:47(25分) | 【「**価値観」を見つけよう（ワーク）**】**１．STEP1～2の流れを説明する（スライド11～12）****２．個人ワークに取り組む。**＜STEP１＞・気になる言葉に丸を付ける。この中にない言葉が気になる場合は、空白の枠の中に記入する。＜STEP2＞・例のように、STEP１で丸を付けた言葉の中から特に自分の感情が動くと感じる言葉の理由や関連する経験、理想の状態を記入する。**３．STEP3について説明する（スライド13）**・2～3名でSTEP２に書いたことを共有する。聴いた人は相手の話からイメージする言葉を伝える。**４．STEP４について説明する（スライド13）**・私は～人です、という枠を使用して、自分を表現する文を記入する。 | ＜使用ページ＞スライド p.11～13WORKBOOK p.5～6※分からない言葉があれば、調べるように促してください。※ポジティブ・ネガティブのどちらの感情でも良いですが、なぜ感情が動くのかをしっかり考えることが大切です。※相手にイメージする言葉を伝えるときは受け取りやすい言葉（相手が嫌な感情になる言葉は避ける）で伝えるように注意することを伝えて下さい。 |
| 0:47~0:50（3分) | 【**前半のまとめ・次回についてのアナウンス**】・「前半のまとめ」を生徒に伝える。 | ＜使用ページ＞スライド p.13WORKBOOK p.6※次回から、これまでのワークをもとに社会課題について考えていくことに意欲がわくような雰囲気でまとめてください。 |

**3コマ目のねらい**：

①Will・Need・Canの3つのキーワードについて理解する。

②社会課題と関連する自己のWill・Need・Canについて考える。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 授業の流れ・概要 | 備考 |
| 準備 | ・スライドの投影準備をする。・生徒たちの手元にWORKBOOKを準備させる。 | ＜準備物＞・プロジェクタ・スクリーン・スライド・WORKBOOK（各自） |
| 0:00～0:05（5分） | **【開始・本コマの主旨についての説明】**・「本コマのねらい」、本コマでおこなうことについて、生徒にアナウンスする。 |  |
| 0:05～0:20（15分） | **【Will・Need・Canから社会課題を考えよう（説明）】****1．社会課題についてのイメージについて、生徒に問いかけを行う（スライド14）**・3～4名で、「社会課題」についてイメージを話し合う。・出てきた意見をクラス内で共有する（何名か）。**2．社会課題の例について説明する（スライド15）**・「食べることが好きな人」を例に、社会課題は「自分が大事だと思うこと」に関わる、身近な問題であることを伝える。**３．Will・Need・Canについて説明する（スライド16～18）**・Will／Need／Canそれぞれに2つの視点があること、3つの重なりが「その生徒のテーマ」になることを説明する。 | ＜使用ページ＞スライド p.14~18WORKBOOK p.7※ここでは、社会課題について「意外と自分の身近にある」という点と「Will・Need・Canの視点」について、生徒が理解できると良いです。※社会視点のWill・Needは「社会が求めること」という点では、内容的に重なりがあります。 |
| 0:20～0:48（28分） | **【社会課題と関連するWill・Need・Canを見つけよう****（ワーク）】****１．STEP１～４の流れを説明する（スライド20～23）****2．個人でワークに取組む**＜STEP1＞P.6で選択した言葉の中から一番感情が動く言葉（テーマ）を選ぶ。＜STEP2＞選んだ言葉に関して、情報収集を行い、メモを取る。（タブレット等を使っての情報収集を想定しています）＜STEP3＞STEP2で調べたことも参考にしながら、選んだテーマに関しての「理想の状態」を記入する。＜STEP4＞選んだテーマに関しての「Will・Need・Can」を記入する。 | ＜使用ページ＞スライド p.20~23WORKBOOK p.8※左記のとおり、STEP1～4の説明を先に行い、ワークを一気に行う方法と、各STEPの説明→記入を繰り返す方法があります。生徒の状況に合わせて、実施していただくことは可能です。※Will-Need-Canについて理解し、アイデアを出す練習のため、「あなたのテーマ」の部分は、ここでは考える時間を取りません。 |
| 0:48～0:50（2分） | **【まとめ・次回についてのアナウンス】**ここまでは、「Will」「Need」「Can」の視点で、社会で起こっている問題について考え整理したこと、次回は、「あなたの身の回りの社会課題」について考えていくことについて生徒に伝える。 |  |

**４コマ目のねらい**：

これまでに感じた「違和感」から、自己にとってより身近な社会課題を見つける。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 授業の流れ・概要 | 備考 |
| 準備 | ・スライドの投影準備をする。・生徒たちの手元にWORKBOOKを準備させる。 | ＜準備物＞・プロジェクタ・スクリーン・スライド・WORKBOOK（各自） |
| 0:00～0:05（5分） | **【開始・本コマの主旨についての説明】**・「本コマのねらい」、本コマでおこなうことについて、生徒にアナウンスする。 |  |
| 0:05～0:10（5分） | **【あなたの身の回りにある社会課題を見つけよう（説明）】****1．実生活の中の「違和感」からも、社会課題が見つかることを説明する（スライド24～25）**・Tシャツと性別役割分担、2つの例を使って、「違和感」が社会課題に繋がることを生徒に説明する。・「違和感」は、「不～」「非～」と感じることから見つかることを、バスの例を使って生徒に説明する。 | ＜使用ページ＞スライド p.24~25WORKBOOK p.9※まだ社会課題を「どこか遠いところで起こっていること」と思っている生徒もいるかもしません。ここでは、より生徒の近くにある社会課題に目を向けていきます。 |
| 0:10～0:25（15分） | **【あなたが思う「違和感」を見つけよう（ワーク）】****１．「違和感」から「Will・Need」を探すワークを行う****（スライド26）**・身近な経験から感じた「違和感」、それに関して身近な社会課題に繋がる「Will」または「Need」を記入する。**2．記入した「違和感」について、3～4名で共有する。**・どんな違和感があったのか、1人ずつ共有する。・メンバーから共有された違和感について、共感した点を伝え合う。 | ＜使用ページ＞スライド p.26WORKBOOK p.9 |
| 0:25～0:48（23分） | **【あなたが解決したい、身近な課題について考えよう****（ワーク）】****１．STEP１～2の流れを説明する（スライド27～28）****2．個人でワークに取組む**＜STEP1＞P.8で記入した「違和感」のうち、自分が一番気になる（考えたい）ものを記入する。＜STEP2＞STEP1で選んだ「違和感」をもとに、Will・Need・Canの視点で記入する。 | ＜使用ページ＞スライド p.27~28WORKBOOK p.10※タブレットなどを使って、情報収集をしながら実施をしてもかまいません。※STEP1～2を本コマで、次コマでSTEP3～4を行います。2コマに渡りますので、家でもっと情報収集や推敲したい生徒がいれば、自分で進めてみるようご案内ください。 |
| 0:48～0:50（2分） | **【まとめ・次回についてのアナウンス】**ここまで、身の回りの社会課題を見つけたので、次回はその解決策について考えていくことを生徒に伝える。 |  |

**５コマ目のねらい**：

①自己にとってより身近な社会課題について、解決策まで考え共感を得る。

②自己の力で社会を変えることができそうだ、という気持ちになる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 授業の流れ・概要 | 備考 |
| 準備 | ・スライドの投影準備をする。・生徒たちの手元にWORKBOOKを準備させる。 | ＜準備物＞・プロジェクタ・スクリーン・スライド・WORKBOOK（各自） |
| 0:00～0:05（5分） | **【開始・本コマの主旨についての説明】**・「本コマのねらい」、本コマでおこなうことについて、生徒にアナウンスする。 |  |
| 0:05～0:40（35分） | **【あなたが解決したい、身近な課題について考えよう****（ワーク）】****１．前コマで行った、STEP１～2の流れをおさらいする（スライド27～28）****２．STEP3の内容を説明する（スライド29）****３．個人でワークに取組む**＜STEP3＞・STEP2で書いたWill・Need・Canを使って、課題を解決するためのアイデアを記入する。・必要があればタブレット等で情報収集しながら取組む。**４．STEP4の説明をし、グループ内でアイデアを共有する（スライド30）**＜STEP4＞3～4名で、自分が考えたアイデアについてメンバーに共有する。聞き手の生徒は、「共感した点」や「こんなWill・Need・Canもあるのでは？」といったフィードバックをする。 | ＜使用ページ＞スライド p.27~30WORKBOOK p.10~11※スライド29の例は、ある高校生の実際のアイデアです。実際には、学校の先生や給食センター、市役所や議員までヒアリングに行き、法律の関係で実施が難しいことがわかりましたが、この生徒は「どうしたら学校給食の食品ロスをなくせるか」と考え、他の方法を模索し、実施しました。※ワークでは5W1Hを使って具体的に考えられれば良いですが、「解決策を考えること」に対してハードルを感じる生徒も多いかと思います。いったん実現可能性は置いておいて、アイデアを発散する時間としてください。※共有の時間では、話し手も、聞き手も、前向きに話をすることがポイントです。＜目安時間＞1人2～3分で発表→1～2分でフィードバック |
| 0:40～0:50（10分） | **【全体のまとめ】****１．「あなただからこそ、できることがある」（スライド31）**ここまで自分の価値観や、大切にしたい想いに向き合ってきたこと、また、「あなただからこそ、できること」があることについて、生徒に伝える。**２．気づきや振り返りを記入する**ここまでの取組の内容を振り返って、気づいたことや学んだことを記入し可視化する。 | ＜使用ページ＞スライド p.31WORKBOOK p.11 |